

楽しく学ぼう屋久島のこと

# 屋久島学

# ソサエティ 2021 第9回大会

Society of Yakushimaology

参加無料

■日時：2021年12/4(土)・5(日) 9:00~17:30

屋久島学ソサエティは、屋久島をもっと知りたい！学びたい！と思っている方なら、どなたでも参加いただけます。今年第9回大会は、新型コロナウイルス感染症防止のため、インターネットを使ったオンラインでの発表を中心に行います。今大会では奄美・沖縄の世界自然遺産登録を記念して、二つのテーマセッションを開催します。「琉球弧につらなる世界自然遺産」、「日本の世界自然遺産の現状と課題」。そして、会員による調査・研究発表、屋久島高校環境コースの皆さんの発表もあります。皆さまのご参加をお待ちしています。プログラムの概要は裏面をご覧ください。

※発表はZoomというインターネット会議システムを用いて行います。

## <参加方法>

屋久島学ソサエティ

### ① 自宅などからパソコン・スマートフォンなどで参加

屋久島学ソサエティホームページ <http://yakushimaology.org/> よりお申し込みください。申し込みいただいた方には、Zoomの会議室番号とパスワードを電子メールでお知らせします。※Zoomはお使いのパソコンやスマートフォンなどに、あらかじめインストールしてください。なお、有料のライセンスを取得する必要はありません。Zoomの会議室に入る際には「本名と所属」を入力して、表示してください。ニックネームなど、本名でない場合は、入室を許可しないことがあります

### ② 自宅からのネット参加が困難な方は宮之浦と永田に視聴拠点（パブリックビュー）を設けます。

【◎宮之浦：屋久島環境文化村センター ◎永田：京都大学屋久島観察ステーション】

人数制限がありますので必ず下記事務局に予約申し込みをしてください。

※開催直前にコロナ感染者が出た場合は視聴拠点を開設しない可能性もあります。ご承知おき下さい。

## <屋久島研究講座>

ソサエティのテーマセッションは屋久島町エコツーリズム推進協議会の「屋久島研究講座」に指定されています。受講証明書が必要な方は屋久島環境文化村センターホームページからお申込みください。ご不明な点は屋久島環境に文化財団(電話 0997-42-2900)までお問い合わせください。

■ 主催：屋久島学ソサエティ ■ 共催：屋久島町／京都大学野生動物研究センター

／公益財団法人屋久島環境文化財団

／京都大学 PWS リーディング大学院

<参加申込>  
①はホームページから申し込んでね。  
②の申し込みは事務局に。



<問合せ> 屋久島学ソサエティ事務局

電子メール：[office@yakushimaology.org](mailto:office@yakushimaology.org)

電話/Fax：0997-44-2965（手塚田津子）

<テーマセッション1> 12月4日(土) 13:30~

【屋久島研究講座】

「琉球弧につらなる世界自然遺産  
:屋久島、奄美・沖縄」

コーディネータ:湯本貴和(京都大学)

南九州から台湾へ弧状に連なる琉球弧は、温暖湿潤な暖温帯~亜熱帯気候で多様な植生や豊かな生物多様性を擁している。このたび奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島(奄美・沖縄)がユネスコ世界自然遺産に登録されることが決まり、北端部の屋久島と合わせて、琉球弧の代表的な自然が世界自然遺産として後世に伝えられることになった。この琉球弧の自然を横断的に、地質・地史、植生、爬虫類両生類、鳥類、昆虫の立場から概説し、その共通性と島ごとの特殊性・固有性について理解を深めたい。

- 地質・地史:安間了(徳島大学)
- 植物・植生:相場慎一郎(北海道大学)
- 爬虫両生類:太田英利(兵庫県立人と自然の博物館)
- 鳥類:西海功(国立科学博物館)
- 昆虫:山根正気(元鹿児島大学)
- コメンテータ:星野一昭(NPO 法人日本国際湿地保全連合)

<テーマセッション2> 12月5日(日) 13:30~

【屋久島研究講座】

「日本の世界自然遺産の現状と課題—知床、白神山地、小笠原諸島、屋久島、奄美・沖縄をむすぶ」

コーディネータ:高嶋敦史(琉球大学)

屋久島と白神山地が1993年にユネスコ世界自然遺産に登録されて以来、知床、小笠原諸島が続き、ついに奄美・沖縄が第5番目の世界自然遺産となった。世界自然遺産は、ある地域の自然に世界的な価値を認め、人類共通の遺産として後世に残していく枠組みである。それにもかかわらず、地元では世界遺産登録が観光客を呼ぶための起爆剤として期待されるため、オーバーツーリズムなどの弊害を生むことが懸念されている。日本各地の5つの世界自然遺産をむすび、その現状と課題を論じる。

- 総説:吉田正人(筑波大学)
- 知床:中川元(知床自然大学院大学設立財団)
- 白神山地:中静透(森林総研)
- 小笠原:可知直毅(東京都立大学)
- 屋久島:湯本貴和(京都大学)
- 奄美・沖縄:小高信彦(森林総研九州支所)
- コメンテータ:田中俊徳(九州大学)
- 奥田直久:(環境省)

<会員による口頭発表>

- 半谷吾郎「ヤマビルの吸血特性と寿命」
- 金井賢一「チョウに文字が書かれていたら・・・」
- 栗原洋介「サル・シカ・枯死木:屋久島で紐解く新たなつながり」
- 服部志帆「1950年代屋久島の猟師はどのような人びとであったか」
- 戸田恵美「屋久島・口永良部島ユネスコエコパークに対する 地域住民の認識に関する研究」
- 手塚賢至「『屋久島低地照葉樹林の環境保全を求める要望書』提出とその後の展開」

ほか

<屋久島高校環境コース発表>

- 安藤 沙弥 「ウミガメが多く上陸・産卵する永田浜の謎を探る」
- 貴船 桜 「島好きの学生を増やすためにはどうすればいいのか」
- 齊藤 勇太郎 「海洋汚染が生物や環境に与える影響について」
- 田中 隼人 「屋久島の郷土料理の歴史と復活」
- 富 海斗 「小瀬田海岸の印象化石」
- 中島 爽 「屋久島の地層構造と温泉の関係」
- 南島 匠 「小杉谷集落と宮之浦官行について」
- 松田 陽向 「屋久島のヤマビルの生態や分布、その他の動物との関連性について」
- 矢野 大輔 「屋久島春田浜にみられるノジュールの分布調査」

<エクスカージョン> 12月6日(月) 9:00~12:00

■「世界遺産の森・西部を歩こう」

講師:杉浦秀樹(京都大学野生動物研究センター)  
現地集合・現地解散《要申込》定員10名

屋久島の様々な分野の調査や  
研究の話を聞くことができます  
その場で質問をすることもできます

古謡「まつばんだ」

あなたも一緒にソサエティの  
オープニングに歌いましょう!  
「まつばんだ受け継ぎ隊」歌い手

募集中!

電話: 44-2965  
手塚まで

屋久のお嶽を  
おろかに思うなよ  
金の蔵よりなお 宝な



詳細なタイムスケジュールは、決定次第、ホームページに掲載します。 <http://yakushimaology.org/>  
屋久島学ソサエティフェイスブックでも情報発信しています <https://www.facebook.com/yakushimaology/>